

来間小学校・下地小学校統合にむけて

宮古島市立来間小学校が地域の方に惜しまれながら、令和2年3月31日に124年の歴史に幕を閉じ、閉校することになりました。これまで800名余の子ども達が学び、育まれ、たくさんの思い出を胸に卒業していきました。

3月に2名の児童が卒業し4月からは下地中学校へ進学、また、1名の児童が下地小学校に通うことになりました。青く美しい海に囲まれた来間島の学び舎で過ごした日々を忘れず、笑顔いっぱい新たな学校生活をスタートしてほしいと願います。



来間小学校の足跡



- | | | |
|---|-----|----------------------------|
| 明治28年 | 7月 | 下地尋常小学校の分教場として設置 |
| 大正8年 | 3月 | 独立して来間尋常小学校となる |
| 大正10年 | 4月 | 高等科併置され来間尋常高等小学校と改称 |
| 昭和16年 | 4月 | 学制改革により下地町立来間国民学校となる |
| 昭和21年 | 6月 | 校名を来間初等学校と改称 |
| 昭和23年 | 4月 | 校名を来間小学校と改称 |
| 昭和31年 | 10月 | 校歌制定（作詞・作曲 砂川英一校長） |
| 昭和37年 | 9月 | 校章制定 |
| ※校歌の「大空かける たかの如 真澄の空にはばたかん」を象徴し、
「志を抱いて大空をはばたく人になることを願う」という意味を込めた。 | | |
| 昭和53年 | 5月 | 鉄筋コンクリート2階建ての校舎落成 |
| 昭和54年 | 7月 | 屋内運動場（体育館）落成 |
| 昭和60年 | 9月 | 国旗掲揚台建立（第15期卒業有志より寄贈） |
| 昭和61年 | 3月 | 学校創立90周年記念石碑建立（国仲昌行校長より寄贈） |
| 平成4年 | 11月 | 運動場拡張改修工事落成 |
| 平成6年 | 8月 | 北海道田下小学校と交流会 |
| 平成7年 | 3月 | 来間大橋開通記念式参加 |
| | 5月 | 校歌碑建立 |
| | 7月 | 学校創立百周年記念式典及び祝賀会 |
| 平成9年 | 11月 | 下地町社会福祉協議会よりボランティア活動表彰 |
| 平成11年 | 11月 | 私のアイデア貯金箱コンクール優良取組校表彰 |
| 平成15年 | 12月 | 新校舎落成祝賀会 |
| 平成17年 | 10月 | 宮古島市誕生により宮古島市立来間小中学校と改称 |
| 平成23年 | 11月 | 沖縄県緑化コンクール優良賞 |
| 平成26年 | 3月 | 来間中学校が下地中学校との統合により閉校 |
| | 4月 | 来間中学校閉校により宮古島市立来間小学校と改称 |



来間小学校の教育活動



「ヤーマス」参加

伝統的な地域行事「ヤーマス」への参加を通して、地域の伝統文化や歴史を学びました。

※ヤーマスとは…
来間島で古くから行われている子孫繁栄、豊年を祈願する祭祀行事



「ムスヌン」見学

伝統祭祀「ムスヌン」について国仲富美男先生を講師に招いて学習し、実際に「ムスヌン」の様子を見学しました。

※ムスヌンとは…
毎年4月、旧暦の丁丑（ひのどうし）の日に行われる、害虫駆除と豊年を祈願する来間島の大切な祭祀行事



来間小・来間部落会合同運動会

「合同運動会」は30年以上も続いている行事です。縄ない競争や玉入れ、バラエティーリレーなどで楽しむことができました。校歌ダンスには保護者や地域の方々が多数参加して盛り上げてくれました。



来間のビーチ清掃

来間島の海岸を清掃し、拾ったゴミの分別をすることで、自然や環境について考えることができました。



思い出とありがとうの言葉

～3名の児童からメッセージ～

わたしは、2年生一人なので、せな兄ちゃんやひでみ姉ちゃん、先生たちとみんなで遠足でドイツ村に行ったり、うんどう会でエイサーをおどったりしたことが楽しかったです。

来間小学校があったので、わたしは、たくさん勉強したり、なわとびをしたり、せな兄ちゃんやひでみ姉ちゃんといっしょにあそんだりできました。今までありがとうございました。



2年 砂川和月さん



6年 砂川秀美さん

私の来間小学校での思い出は、5年の時の宿泊学習で野外炊飯や天体望遠鏡で星を見たり「ヤーマス」や「ムスヌン」などの地域の伝統行事にみんなで参加したりしたことです。

私は、来間小学校に入学してからこれまで、教室や音楽室などで勉強したり、体育館や運動場で運動したり、図書室で本を読んだりすることができました。私たちを見守り、たくさんの勉強や活動をさせてくれてありがとうございました。



6年 砂川世風さん

来間小学校は、人数が少ないので全員でヤーマスやムスヌンなどの地域行事の歴史を調べて地域行事に参加したり、島をあげて地域と学校の合同運動会を行ったりできたことが思い出です。

来間小学校へ124年間おつかれ様でした。台風で壊れたこともあったそうですが、建てかえをくり返しながらも「来間小学校」として続けてくれてありがとうございます。僕は、歴史ある来間小学校最後の卒業生だということを誇りに思って卒業します。小学校に入学してからの6年間お世話になりました。

宮古島市立来間小学校閉校式

令和2年3月24日(火)

来間小学校ランチルーム





宮古島の教育を語る市民大会「教育の日」

去る2月16日(日)に「令和元年度宮古島市教育の日」の催しとして、未来創造センターにて「宮古島の教育を語る市民大会」が行われました。

大会は結成45年の歴史を持つみやこ少年少女合唱団の市歌斉唱で幕を開け、開会行事、模範児童生徒、教育功労者の表彰、令和元年度学力向上の推進についての実践報告、社会教育委員による家庭教育支援の実践報告、その他舞台発表として、北中学校の吹奏楽部、宮古島創作芸能団んきゃーんじゅくに出演していただき好評を博しました。

そして、84歳のデジタルクリエイター若宮正子氏による「私は創造的でありたい～人生100年時代の学び直し～」をテーマに行われた講演では、若宮氏の遺暦を過ぎてからパソコンを始めて、現在では世界から注目される最高齢プログラマーとして認められた自身の経験を踏まえ、人生100年時代の生き方や楽しむ秘訣等を語り、多くの来場者の皆様も話に聞き入っていました。



基調講演 **若宮正子さん**
 テーマ「私は創造的でありたい」
 ～人生100年時代の学び直し～



「教育の日」標語・川柳入賞者

教育の日に関連して、児童生徒や一般(高校生含む)から標語・川柳を募集しました。本年度は326点の応募の中から、最優秀作品3点、優秀作品6点が決定いたしました。

一般の部(高校生含む)

中学生の部

小学生の部

<p>優秀賞</p> <p>育てよう 地域と親で 未来の子</p> <p>宮古高校 2年 佐和田滉さん</p>	<p>優秀賞</p> <p>毎日が 教育の日と 旗を振る</p> <p>一般 岸本和子さん</p>	<p>最優秀賞</p> <p>未来へと 歩む子供の 背中押す</p> <p>宮古高校 1年 与儀絵梨佳さん</p>	<p>優秀賞</p> <p>つなげよう 学びのリレー 未来へと</p> <p>城辺中学校 1年 鈴木東一郎さん</p>	<p>優秀賞</p> <p>学びたび 君の将来 無限大</p> <p>伊良部島中学校 2年 親川由佳さん</p>	<p>最優秀賞</p> <p>学習で 変わる力 見える将来</p> <p>鏡原中学校 2年 濱川藍羽さん</p>	<p>優秀賞</p> <p>学校は 世界に旅立つ 準備の場</p> <p>伊良部島小学校 6年 宮国良歩さん</p>	<p>優秀賞</p> <p>学校はね ワクワクがたくさん！ わたしのひみつきち</p> <p>鏡原小学校 2年 友利娃良さん</p>	<p>最優秀賞</p> <p>学習は 未来へおくる 宝物</p> <p>城辺小学校 6年 川満千晴さん</p>
---	---	---	---	--	--	--	--	---

夢

宮古島市
実現助成事業

報告



夢実現助成事業とは、宮古島市の児童生徒の人材育成及び教育指導者等の資質の向上を図ることを目的に、宮古島市の教育の日に表彰された者を対象に、一人あたり30万円を限度に助成金を交付し、自らの夢実現のために、視察研修等の計画を立て実施する事業です。(助成事業の対象者が児童生徒の場合、保護者1名を助成事業の交付対象とする。)

平成30年度「教育の日」模範児童・生徒（小学生の部）で表彰

花城 唯さん 西辺中学校1年

令和元年10月12日～15日の4日間、沖縄本島にて那覇市歴史博物館、沖縄県立博物館、浦添美術館、宜野湾市立博物館、琉球大学など視察研修を実施。



～感想～

最初に那覇市歴史博物館に行きました。ここでは、王様の冠を見ることができました。一つ一つ小さいビーズのようなものが並べられていて、魅力がありました。次に、沖縄県立博物館に行きました。沖縄の生物や昔の暮らし、昔の人類の特徴などを知ることができました。また、浦添美術館にも行きました。ここには、沖縄の文化であるうるしぬりのお皿などを見ることができました。とてもキレイにぬられていてツヤがありました。最後に琉球大学に行きました。医学部の施設を見学し、教育部に行って講話を聞きました。頭と体はつながっていて、運動をすると勉強もできるようになると分かりました。

夢実現プランを終えて、たくさんの知識を得ることが出来ました。今回学んだことをこれから生かしていこうと思います。



平成30年度「教育の日」社会教育功労者

野原 勝也さん

令和2年1月22日に上野中学校にて生徒、教職員、保護者を対象に教育講演会を実施。



～内容～

野原さんは、可能性を拓く生徒の育成と目標を達成するため、教育講演会を通して個々の教育に対する質の向上を目指すことを目的に、夢実現助成事業を活用し講演会を実施。

講師に上野中学校出身で検察庁OBの砂川龍也さんを迎えました。砂川さんは、「小さな島で生まれても～大きな夢を持って」と題し講演。検察庁が行っている業務や警察と検察庁の違いについて説明し、夢を実現するためには「何事も諦めない気持ちが大事」と強調。宮古の「アララガマ精神」「博愛の精神」を持って夢を実現してほしいと呼びかけました。また、家族や兄弟、親戚を大事にし、人との出会いを大切にすること。読書で心を豊かにし、きれいな言葉でコミュニケーションを図れるすてきな大人になってほしいとエールを贈りました。

